



10月17日は  
貯蓄の日

# お金の知識をあなたの力に

「お金」は、私たちの日常生活に欠かせない大切なものです。だからこそ、正しい知恵を基に、活用したいもの。そこで必要となる「金融リテラシー（お金の知識・判断力）」や、お金との上手な付き合い方について、山形県金融広報委員会副会長で日本銀行山形事務所長の川村憲章さんに伺いました。

## お金の付き合い方は 必要不可欠な生活スキル



山形県金融広報委員会副会長  
日本銀行山形事務所 所長  
川村 憲章 氏

「お金の学びに」天きな変化があった」といわれます。

本年4月に金融経済教育推進機構（J-FLEC）：ジェイ・フレックが設立されました。J-FLECは、国民一人一人が、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現できるよう、全国で広く「学びの場づくり」に取り組み組織です。法律に基づいて設立された中立・公正な認可法人が提供するプログラムで、金融商品を勧められる心配もなく、安心して学ぶことができます。

講師を無料派遣  
セミナーも無料

「お金について、どのように学ぶのですか？」  
企業や学校では、「お金について学びたい」といったニーズがあり、原則10人以上などの要件を満たせば、J-FLECに無料で講師派遣を依頼できます。例えば、中高生向けに「大人になる前に知っておきたいお金の話」、若手社会人向けに「社会人として知っておきたいお金の話」、ベテラン社会人向けに「リタイア前後に知っておきたいお金の話」といったテーマで話をしてもいいことができます。「資産形成・金融リテラシー研修」への関心度も高いといわれています。

個人単位でも、生活設計や

資産形成等について、相談者の状況に応じたアドバイスを提供するJ-FLEC認定アドバイザーから受けることができます。山形県では、弁護士の間千乃さん、FPの武田幸夫さんをお招きして、10月19日（土）13時～17時に「くらしとおかお講演会」を山形テルサで開催します（事前申込制）が、こうしたイベントに参加することも金融リテラシーの向上につながります。

知識は東北首位  
トラブルが多発

「山形県民の金融リテラシーはいかがですか？」  
「金融リテラシー調査2022年」によれば、山形県の金融知識・判断力に関する正誤問題の正答率は東北地方トップ（全国14位）でした。内訳をみると、60～79歳は全国10位、30～59歳は全国42位、18～29歳は全国42位と、シニアの正答率が高い一方、若者の正答率が低い状況でした。気になるのは、金融トラブルの多さです。金融トラブルの経験者の割合は11.9%と全国で最も高い状況でした。

お金を学んで  
豊かな人生を

「貯蓄の日」に当たり、山形県民にメッセージを。  
私たちは生きていくために、日々お金を使っています。他方、そのようなお金について真剣に向き合ったことがある方は、あまり多くないのではないのでしょうか。

中立公正なJ-FLECの講師を招いて、あるいはセミナーや個別相談に参加してお金について学んでみませんか。講師派遣のお申し込みやJ-FLECの詳細については、公式ウェブサイトをご覧ください。

J-FLEC 公式ウェブサイト

① 講師派遣  
② セミナー  
③ 個別相談、等

全て無料

広告